



会長	阿部賢悟	幹事	遠藤光則	会報	飯塚仁哉	渡辺光悦	佐藤静市	江川元徳
例会場	サンシャイン佐沼 ☎22-8180							
例会日	毎週木曜日 12:30~13:30							
事務所	サンシャイン佐沼 ☎22-8180							

第2286回例会 2011. 1. 13 No.23

本日の出席率

- ・本日の出席率 78.43%
- ・前回確定出席率 98%

ニコニコボックス

- ・阿部賢悟会長 八谷郁夫パストガバナーの経験豊富なスピーチにご期待いたします。利き酒全正解者おめでとうございます。いい年になります。
 - ・飯塚仁哉会員 先日、妻の誕生日に黄・紅・白の寄せ植の綺麗な花を贈られ、玄関に飾っておきました。八谷郁夫会員の寡黙にして重みのあるスピーチに期待して。
 - ・高田次雄会員 妻の誕生日にお花ありがとうございました。
 - ・佐々木源悦会員 利き酒会、正解の5名の方おめでとうございます。
 - ・伊達直人会員 (K & K) 全国に広がるタイガーマスクブーム、私も賛同しています。思いきって2,000円S-BOXに入れたいと思います。
 - ・及川昭宏会員 新年おめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。
 - ・村上武彦会員 本日早退。
 - ・遠藤光則幹事以下 八谷郁夫会員のスピーチを楽しみにしています。
- 布施孝之会員 及川勝永会員 千葉吉男会員
 氏家良典会員 伊藤俊郎会員 山田直志会員
 二階堂學会員 菅原文之会員 猪股育夫会員
 熊谷敏明会員 佐々木功一会員 小野寺伸浩会員
 小泉洋会員 二階堂敏雄会員 富士原裕子会員
 佐々木一寛会員 武川毅会員
- 以上、ありがとうございました。

会長要件 阿部賢悟会長

毎朝氷点下の日が続いております。日中の気温もあまり上がらず寒い毎日ですので、健康には十分に気をつけて仕事に邁進していただきたいと思っております。先週は、利き酒会が、酒蔵が全部異なる4銘柄、仕込方法の違うお酒と、いつもとはちょっと趣きをかえた形で行われました。面白い企画で楽しい利き酒会でした。毎年、もしかしたらと期待をされた方が多かったと思いますが、残念ながら全問正解は5名でした。お酒を楽しみながら飲んでおられる方々で、大変おめでとうございます。新年早々の大正解で、今年一年は、良い年になることと思っております。この楽しい企画をずっと続けていってほしいものと思います。

1月6日(木)、舟橋やに於きまして開催されましたE T A懇談会に参加しました。担当の先生から生徒達の活動報告がありました。就業の体験、交通安全教室、薬物乱用防止、献血推進出前講座、進路見学会等々ありました。今年度卒業者は11名で就職希望者は8名。8名の中、1名は現在の仕事を継続してそのまま雇用され、正規社員雇用となっております。残る7名中、現在、正規採用内定者は1名という厳しい状況にあり、特に、地元希望者が苦戦しているとのことでした。ロータリークラブとして、又、個人としてどのような手助けが出来るのかなという思いでした。

今月は、ロータリー理解月間です。我々ロータリアンがロータリーについての知識と理解をより一層深める月です。そして、同時に対外的には一般の方々にロータリーのことを良く知ってもらう、そのためにプログラムを実施する月間です。是非、この月間に該当する委員会にこれから早速活動されることを期待するところです。よろしくお祈り致します。

幹事報告 遠藤光則幹事

- ・ロータリー米山記念奨学会より 功労クラブ表彰についての案内が届く
- ・ガバナー事務所より 「ロータリー簡単図解」が届きましたので、皆さんに配布します。入会勧誘の際等利用して下さい。
- ・合同庁舎前時計台の補修につき、標語に対するご提案をお願いします。(1月27日まで)
- ・2月8日(火)の合同例会に於いて、各クラブ代表による5分間スピーチが行われます。
- ・例会場変更に伴い、メニューが若干変更になっておりますのでお知らせします。

各委員会報告

- ・親睦活動委員会 (佐々木源悦委員長) 新年移動例会参加人数が決定しました。これからのキャンセルはキャンセル料がかかりますので、キャンセルのないようにお願いします。尚、追加は出来ますので、参加出来る会員は連絡願います。

今週のスピーチ

「国際ロータリーのロータリー財団について」
 八谷 郁夫会員

今日は、ロータリーと国際ロータリーの財団について、私なりに考えたのとR Iが新しくまとめた方針というものを出してきておりますので、これと重ね合わせてお話をさせていただきたいと思っております。

ロータリーとロータリー財団について、車の両輪と説明されていたことがあります。車の両輪というのは2つが相俟って立派な働きをすること、両者が一組になって用をなす例えとして使われることで「因果と縁とは車の両輪のごとく」というように使われます。これは、視点を変えますと一方がだめになると両方ともだめになると言うことでもあります。クラブに私が入会した30年程前も、やはり、この様な説明がなされたことを覚えております。しかし、ロータリーとロータリー財団を並列して考えるということには無理があるのではないかと、私は考えております。

車の両輪が同じ目的に向かって、同じ回転で進んで行けば直進に進んで行くことが出来ます。しかし、目的が異なれば勿論のこと、目的が同じであっても勝手に回転していたら、右往左往、筋道はずれ目的を極めることは難しくなります。財団流の活動をしてきたことは、奉仕事業として大きな成果を上げてきました。しかし、ロータリー先発国に於いてはロータリーとしての方向性を弱め衰退の道を辿りつつあります。そういった考えを持つ人が最近多くなっております。現在、奉仕を受ける機会が多い国、即ち、ロータリー後発国に於いては、発展への道を進んでおります。

ロータリーは、奉仕を目的とする団体ではない筈だと私は思っております。今一度その目的、理念を確認する必要があるのではないかと考えております。又、ロータリー財団は、財団を維持しその計画された事業を達成することを目的とするものではないこと、その本質は、ロータリーの目的達成のためにあるということを認識しておく必要があると思っております。

ロータリーの創設は、1905年2月23日、ポールP・ハリス、その他3名でされました。翌年1906年に作られたロータリーの綱領1条第1項に「本クラブ会員の

事業の利益の拡大」これが本来の目的としてあげられております。第2項、第3項に、親睦と自分達が所属しているシカゴ市への貢献と利益の推進を図ると共に、市民の誇り、忠誠といったものをやっていくという付属された項目がついております。

一方、現在の綱領は、皆さんもご存知の様に「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある」ということで以下4項目、クラブ奉仕に関する件、職業奉仕に関する件、社会奉仕に関する件、国際奉仕に関する件があがっておりますが、その基本的な項目になっていること、事業ということ、これを省いては考えられないということでもあります。1906年につくられた目的綱領と現在の綱領とは別々に変わっておりません。そして、その職業奉仕の規範として我々が毎週確認し合っております「四つのテスト」がある訳です。

職業と奉仕の結びつき、これは、職業の成功はサービスを与えるか否かにかかっている。そして「職業というものは、それに係わる全ての当事者がその取り引きによって利益を得るものでなければ正当化されない」その次に、最も職業奉仕に於いて重要視されているサービス、奉仕の責任について「私達に最も良く奉仕する者は、最も多く報いられる」というスローガンをもたらし、よりはっきりと理解をさせてくれるようになりました。このアーサー・フレデリック・シェルドン博士については、ロータリーの友1月号に詳しく載っていますので是非読んでいただきたいと思っております。

R Iの長期計画、これは、国際ロータリー2001年～2002年度の21世紀に向かっての長期計画を導くために、長期的な計画を理事会で見直していただくという形になっております。最終の2009年度に大巾な見直しを行いました。これには、組織としてロータリーが優先すべき事柄について世界14,000人のロータリアンを対象としたアンケート調査、各国に於けるロータリーのイメージを探るための段階的調査、その他のデータ分析や研究調査の結果を反映して作られたもので、国際ロータリーとロータリー財団が進むべき進路を一致するよう改訂した長期計画ということでした。国際ロータリーとロータリー財団が進むべき路を一致させるということでもあります。これを、わざわざ言ったということ、いくらか今までズレがあったと考えているのではないかと思います。これは、昨年7月1日より有効になっております。

R Iのビジョンについて、私達は世界中の地域社会に於ける人々の生活の改善に貢献するため、活発で行動力のあるクラブからなり、人々から選ばれる奉仕組織である。

R Iの優先項目。クラブをサポートしてあげる。それを強化していく。人道的奉仕の重点化と増加。公共イメージと認知度の向上。

R Iの中核となる価値観(考え方)。奉仕とサービス。親睦(フェロウシップ)、友情を目指した親睦。多様性、高潔性、指導性。

R Iの使命。私達は他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務及び地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進する。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。